日刊 建設タイムズ

発行所
宇治市槇島町落合
TEL 0774-21-0011
FAX 0774-21-0022
http://www.kyoto-kensetsutimes.co.jp
e-mail:info@kyoto-kensetsutimes.co.jp
購読料(1カ月)7,560円(税込)

「南ケ丘こども園」整備支援業務
プロポ 日建設計CMを特定
27年7月着工、総事業費10億円

八幡市

八幡市は、公募型プロポーザルで選考手続きを進めていた「(仮称)南ケ丘こども園」の整備推進支援業務についてコンサルタントに日建設計コンストラクション・マネジメント(東京都文京区／TEL03・5803・9770)を特定した。プロポーザルには同社のみが参加していた。上限提案価格(税込)は451

こども園が新設される中央小学校運動場

0万円(支出上限額2025年度1441万円、26～28年度3069万円)。

南ケ丘こども園の整備は市立就学前施設再編の一環。老朽化が進む南ケ丘(八幡小松20・12)と南ケ丘第二(八幡三反長9)の両保育園を統合し、中央小学校(八幡小松77、敷地2万0916㎡)運動場に幼保連携型認定こども園を新築する。施設規模は概算で延約2000㎡を想定。27年7月の着工を予定し、総事業費に約10億円を見込んでいる。

コンサルへの委託内容は、コンストラクション・マネジメント技術を生かした支援で、▽プロジェクトマネジメント支援=プロジェクト推進方針の検討、各段階における妥当性の検証、その他マネジメント業務▽設計者選定・設計段階における支援=設計者の選定準備に係る支援、設計業務の発注・契約の支援、設計内容・工程の確認▽工事施工者選定・工事段階における支援=工事施工者の選定準備に係る支援、工事発注・契約の支援、工事内容・工程の確認、工事費の確認、工事費概算の確認▽工事段階における支援=工事施工者の選定準備に係る支援、工事内容・工程の確認、工事費の確認——。委託期間は28年6月末までで、技術的に中立性を保ちながら、発注者である市が求める機能や条件などを施設整備に的確に反映させていく。

市は、園児数の減少や施設の老朽化などに対応するため、21年10月に「市立就学前施設再編の基本方針」を策定。南ケ丘と南ケ丘第二の両保育園は、統合してどちらかの園を存続させる考えだったが、施設の老朽化や市立就学前施設全体の職員体制強化、保護者意見交換会の結果などを踏まえ、中央小運動場(約1万㎡)に新しい園舎を建てて幼保連携型認定こども園を新設する方針を打ち出した。園児数は両園とも約50人。

25年度から新園舎の基本・実施設計に取りかかる方針。8月に公募型プロポーザルで公告し、11月にコンサル業者を選定する予定。今年度当初予算で25～28年度の債務負担行為として基本・実施設計業務委託費6660万円を設定している。26年12月に実施設計を完了し、27年7月から工事着手。28年6月の竣工、9月の開園を目指す。建設工事費は設計が完了次第、予算計上する予定。

「再編の基本方針」では、再編が完了した有都小校区を除く、5小校区ごとに考え方を示し、24年4月にみその保育園(八幡園内92・1)と八幡幼稚園(八幡今田38)を統合した幼保連携型認定こども園「やわたこども園」、八幡第三(男山美桜17)と八幡第四(男山松里1)の両幼稚園を統合した「さくら幼稚園」を開園。課題となっていた学級規模は確保され、職員体制に加え、プレ保育や預かり保育など子育て支援事業の充実にもつなげることができた。

やわたこども園は、旧みその保育園敷地で運営しているが、将来的に旧八幡幼稚園敷地に新園舎を建設して移転する予定で、隣接する八幡小との効果的な幼少連携の推進につなげる。着工時期はまだ決まっておらず、南ケ丘こども園の整備終了後になる見通し。

強靭化中期計画に物価高反映を
主要9項目とりまとめ
26年度国施策及び予算政策提案

京都府

京都府は5月29日、2026年度の国の施策及び予算に対する政策提案をとりまとめ公表した。防災・減災・長寿命化対策や社会基盤整備の予算確保など主要9項目。6月4・5日の両日に西脇隆俊知事が内閣府や総務省、国土交通省など関係省庁を訪れ積極的に働きかけていくとした。

主要項目のうち本紙関係では、▽防災・減災・長寿命化対策、地域の活力や安心な暮らしを支える社会基盤整備の予算確保について—として、国土強靭化実施中期計画案において、事業規模は今後5年間でおおむね20兆円強程度とされたところから、物価高の影響を反映し所要額の確保を求める。

▽上下水道施設の強靭化の推進に向けた支援制度の拡充等について—では、上下水道の耐震化を推進するため、国補助事業における採択基準の緩和・撤廃や補助率の引き上げ、対象施設の拡大を要請する。

▽中小企業への伴走支援体制の強化について—で、府が中小企業の資金繰りと経営改善を両面から伴走支援している金融・経営一体型支援体制強化事業に対して、財政措置を要請する。

地方一般財源の総額確保について—では、社会保障関係経費や教職調整額の引上げ等を踏まえた地方一般財源総額の増額確保及び、いわゆる年収の壁の引上げやガソリンの暫定税率廃止が行われた場合においても地方の財政運営に支障が生じないよう必要な措置を求める。

▽高速道路の整備について—としては、山陰近畿自動車道の早期全線開通に向け、直轄権限代行である大宮峰山道路等の早期完成及び新名神高速道路の早期全線開通を働きかけていくとした。

有限会社 千両松
工場／京都市伏見区横大路千両松町51・52・53番地
TEL(075)612-6770
FAX(075)612-7825

SK 株式会社エスケーコーポレーション
ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得
木質バイオマスで
人と環境にやさしい、
エネルギーづくり
Wood biomass is a person and eco-friendly energy
宇治田原バイオマスセンター
【木材リサイクル産業廃棄物処理施設】
〒610-0255 京都府綴喜郡宇治田原町郷之口西ノ山30-4
TEL 0774-99-8877　FAX 0774-99-8866
営業時間 午前8：00～午後5：30　日祝休業

伐採工事

木材中間処理業

産業廃棄物収集運搬業